

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した場合や終末期の意向は、入所の時にご家族、ご本人に確認をし「意思確認書」に記入いただいているが、具体的な内容になっていないため、ご家族の不安の声が聞かれる。	ご家族、主治医、訪問看護ステーション、職員が協力し、ご本人、ご家族の希望に沿った終末期ケアが行えるように体制を整える。	家族会の場などで(定期的に)終末期ケアには、どのような事が考えられ、どのような事が必要か(主治医との連携、ご家族の協力など)を説明し、ご家族の意思を確認しながら理解をいただく。主治医のグループホームでの終末期の考えを確認する。	12ヶ月
2	23	認知症が徐々に進行している利用者さんの変化に、職員が対応できていないことがあり、利用者さんの思いに沿ったケアを行うため、職員の意識を高めていく必要がある。	認知症が徐々に進行している利用者さんの出来ることを大切にして、職員がさりげなく支援することで、利用者さんが今までと変わらない生活を続けることが出来る。	カンファレンス、会議等で利用者さんの出来ることや気付きを出し合う。職員がどのように関われば、今までのように身の回りのことや家事などが続けられるのか、職員全員で検討し実行する。	10ヶ月
3	35	年2回の避難誘導訓練のうち1回(秋)は夜間想定で訓練を行っているが、職員1人だけという設定では行っていない。職員全員に誘導方法や緊急時の対応等周知徹底できていない。	火災等の災害時、緊急時、職員全員が対応方法を理解し、地域の方の協力をいただき、夜間、職員が1人でも落ち着いて避難誘導を行うことが出来る。	地域の方にも協力をしていただき、職員1人の夜間を想定した避難誘導訓練を行う。(秋頃)緊急時等の対応方法の勉強会、マニュアルの読み合わせを定期的に行う。災害時の備えに備蓄品の準備をする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。